

# 令和5年度 浜松市立気賀小学校 学校評価報告書

## 1 自己評価

- ・別紙の通り（令和5年度気賀小「自己評価結果、考察及び改善方策」）

## 2 学校関係者評価

2月2日（金）に開催した学校関係者評価委員会（学校運営協議会）において、自己評価結果及びアンケート結果の考察・改善について委員に報告した。報告に対して以下の意見があった。

- ・学習指導、いじめ対応等、職員がしっかりと対応し、安心して通うことができる学校である。
- ・気賀小学校は、地域も保護者も協力的であり、多くの方が学校ボランティアに参加している。学校と地域が一体となって取り組むことができていると思う。
- ・運営協議会の際に、委員はランドデザインについて説明を聞くが、その他保護者も理解できるように積極的に発信ができるとよい。
- ・CSの取り組みは大変充実しているが、地域・保護者に対して、より積極的な情報発信が必要であると思う。
- ・地域や保護者の学校へのベクトルは向いていると感じる。一方、子供たちから地域に向けたベクトルも必要かと思う。子供たちが地域への関心をもつことができるようになると良い。
- ・他校に比べると、気賀小学校の保護者はCSの取り組みについて知っている方だと思う。令和6年度には浜松市全域の学校でCSの取り組みが始まると聞いている。学校からの情報発信はもちろん、行政からもCSや運営協議会に関する情報発信を積極的にできると良い。
- ・さくら連絡網やホームページを活用して、学校から積極的に情報発信をしているが、保護者が興味・関心をもたないと意味がない。CSやいじめ防止基本方針に関する情報も同じである。一生懸命に発信をすることは大事であると感じるが、完璧を求めることは難しいと思う。
- ・運営協議会の存在について知らない方が多いと思う。保護者だけでなく、地域も関わり皆でやっているということを周知していくことができると良い。

## 3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価委員会（学校運営協議会）では、CSの取り組みや学校運営協議会に関する情報発信の在り方について多くの意見をいただいた。さくら連絡網やホームページを通じた発信を積極的に行うとともに、発信内容や手段について、学校職員だけでなく、運営協議会委員も一体となって検討をし、改善につなげていきたい。